

AWGについて

AWG (Arbitrary Waveform Generator) は医学博士【松浦優之】氏が25年間の歳月をかけ研究開発した段階的波動発生装置です。

* AWG (Arbitrary Waveform Generator) は、直訳すると「段階的マイナスイオン電子投射機器」です。

AWGは、ガストン・ネサン博士のソマチッド理論に合致した世界初の技術で、アメリカ・ロシア・中国・カナダ・EA・メキシコ・香港・韓国など12ヶ国で国際特許取得、世界138ヶ国に特許出願済です。

ソマチッド理論とは、人の生体内には100兆個ほどのソマチッドという最少の生命体が存在するという理論で、ソマチッドは免疫に深く関与し、健康な人はソマチッドが個々に活発に動いているが、病巣にあるソマチッドはシェルターを作って、動きが緩慢になっていると言われます。

このソマチッドはマイナスイオン電子をエサとしており、マイナスイオン電子を投射することで健康な状態に回復すると言われています。

AWGは、波動治療装置における発振周波数を、コンピュータープログラムにより疾病の種類に応じて複数の発振周波数を自動的に選択し投射します。

その投射方法は、疾病ごとに、周波数の波動を、ある一定の法則で変化させ発振し、治療磁場と不閉磁場を作り、その間に弱電を投射し、治療効果を得るものです。

AWGによる電子(=マイナスイオン)の投射により、病気の元(=プラスイオン)を破壊し、身体の低下した機能のあるべき姿に戻し能力を引き上げることができます。

AWGは、電子そのものを体内に送り込むことが特徴です。

* マイナスイオン電子の大きさは原子核の1兆分の1センチ(10-12 cm)の超微粒子で、これは自然界で最も小さな粒子。

AWGは、生体組織細胞に害のない弱電(10mA、12.5V)を上下左右より十文字(クロスファイア)に投射します(1秒間に250万回)。

十文字に電子波を投射するため、その威力は4倍以上となり、急速に身体の中の病巣であるプラスイオン物質を破壊することができます。

投射された電子は、強烈にウイルスやバクテリア等を破壊します。

ウイルスやバクテリア等にはそれぞれ固有の共振周波数があり、この周波数に適合させた電子をコンピュータで制御し、身体に直接投射することで共振現象を起こします。

そうした周波数を変動させる機能を持つ装置は、他にはありません。

AWGは様々な病気に効果があると言われています。

癌をはじめ、重症筋無力症、劇症肝炎、B及びC型肝炎、膠原病などの難病をはじめ、約400種類以上の病気に有効で、有効治癒率も94パーセント以上と言われています。

AWGは、幅広い疾病に対して、患者さんに副作用やダメージを与えることなく治療を行うための画期的な波動機器といえるでしょう。

AWGの主な特徴

- 注射をしない
- 副作用、後遺症、ショック等がまったくない
- 投薬しない
- 患者に痛みを与えない

AWG治療の対応病名

皮膚疾患	水虫、脱毛症、蕁麻疹、乾癬、狼蒼、アトピー皮膚炎、他
脳・頭部	トラウマ、パーキンソン、アルツハイマー、老人性痴呆、小児麻痺、他
眼科	眼科、白内障、緑内障、目の炎症、眼精疲労、不眠症、他
歯	口内炎、顔面神経麻痺、歯周病、歯痛、他
耳鼻科	メニエール、目まい、難聴、他
鼻・咽喉科	アレルギー、インフルエンザ、咽頭炎、アデノイド、花粉症、扁桃炎、他
肺・結核	呼吸困難、咳、気管支炎、結核、肺炎、他
胃	胃酸過多、EBウィルス、胃炎、胃下垂、胃癌、他
十二指腸	潰瘍、カタル、かんの虫、他
胃・腸	腹痛、アシドーシス、ウィルス性ポリープ、寄生虫、大腸炎、他
膵・胆	糖尿病、胆石、膵全般
糖尿病	アシドーシス、腎、肝炎、肥満、黄疸、免疫向上、他
泌尿器	夜尿症、膀胱炎、腎炎、腎結石、尿路結石、他
脊柱	椎間板ヘルニア、むち打ち、背部痛、腰痛、筋ジストロフィー、他
その他	産婦人科系、男性器系、スポーツ系、がん、HIV/AIDS、他

AWGについて

AWG投射における効果は年齢、性別、疾病の度合いによって異なりますが、人体に無害な周波数を投射する療法であり、これまで副作用などはありません。

AWGの安全性や有効性、品質も公認されており、厚生労働省JIS-C6310に適合しています。

AWG治療は、年齢差や個体差によって効力に著しい差があります。

罹病者で下記の症状の方は顕著な治療効果が得られない場合があります。

- 骨癌（頭蓋骨内癌腫）のある方
- 慢性ミネラル欠乏症の方
- 老衰（極端な高齢者）の方
- 過去に放射線、コバルトなどの投射及び大手術などを行い、自己抗体の免疫が落ちている方
- 重篤・慢性疾病などの合併症のある方

AWGの効果

- 生体細胞・組織の活性化
- NK細胞の活性がUPし、免疫力が上昇する
- 血液の弱アルカリ化
- 血管の拡張
- 血漿・リンパ混濁の浄化
- ウィルス、バクテリア、体内寄生虫のコアの破壊
- 感染細胞内のDNAを破壊
- 内分泌腺を刺激しホルモンを正常分泌
- 生体内のDJVC抗原を作りだし免疫を一気に上昇させる
- 脳幹を刺激して α 波、 β エンドロフィン、オキシトシンホルモン、メラトニン等の分泌を促す作用